

○厚生労働省告示第百二十一号
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成十七年法律第百二十三号）第五條第二十五項及び第七十六條第二項の規定に基づき、補装具の種目、購入又は修理に要する費用の額の算定等に関する基準（平成十八年厚生労働省告示第百二十八号）の一部を次の表のように改正し、平成三十年四月一日から適用する。
平成三十年三月二十三日
厚生労働大臣 加藤 勝信
(傍線部分は改正部分)

改 正 後			改 正 前		
補装具の種目、購入等に要する費用の額の算定等に関する基準			補装具の種目、購入又は修理に要する費用の額の算定等に関する基準		
1 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成十七年法律第百二十三号。以下「法」という。）第五條第二十五項に規定する厚生労働大臣が定める補装具の種目は、義肢、装具、座位保持装置、盲人安全つえ、義眼、眼鏡、補聴器、車椅子、電動車椅子、座位			1 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成十七年法律第百二十三号。以下「法」という。）第五條第二十三項に規定する厚生労働大臣が定める補装具の種目は、義肢、装具、座位保持装置、盲人安全つえ、義眼、眼鏡、補聴器、車椅子、電動車椅子、座位		

保持椅子、起立保持具、歩行器、頭部保持具、排便補助具、歩行補助つえ及び重度障害者用意
思伝達装置とし、次項から第五項までに定める基準以外の基準については、別表のとおりとす
る。ただし、障害の現症、生活環境等を特に考慮して市町村が費用を支給する補装具について
は、別表の規定にかかわらず、法第七十六条第三項の規定による身体障害者更生相談所その他
厚生労働省令で定める機関の意見に基づき当該市町村が定めるものとする。

2 前項ただし書の補装具は、購入又は修理をするものであつて、同項前段に掲げる補装具の種
目に該当し、かつ、別表の規定によらないものとする。

3 法第七十六条第二項の規定に基づき厚生労働大臣が定める補装具の購入等に係る費用の額の
基準は、別表の規定による価格の百分の百四・八に相当する額とする。ただし、第一項ただし
書の補装具については、市町村が定める額とする。

4 次に掲げる購入等に係る費用の額の基準は、前項の規定にかかわらず、別表の規定による価
格の百分の百八に相当する額とする。

一 別表の 1 の (5) の眼鏡（遮光用及び弱視用を除く。）の購入

二 九（略）

十 別表の 2 の (5) の重度障害者用意思伝達装置の項中本体修理、固定台（アーム式又はテー
ブル置き式）交換、固定台（自立スタンド式）交換、入力装置固定具交換、呼び鈴交換、呼
び鈴分岐装置交換、接点式入力装置（スイッチ）交換、帯電式入力装置（スイッチ）交換、
筋電式入力装置（スイッチ）交換、光電式入力装置（スイッチ）交換、呼吸式（吸気式）入
力装置（スイッチ）交換、圧電素子式入力装置（スイッチ）交換、空気圧式入力装置（スイッ
チ）交換、視線検出式入力装置（スイッチ）交換及び遠隔制御装置交換

5（略）

別表

1 購入基準

(1) 義肢一般構造義肢

名 称	型 式	使用材料・部品及び工作法	価 格	備 考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	常用	(略)	(略)	(略)
(略)	普通			
(略)	カナ デ イ ン 式	アの基本工作法により、エ及びオよりそ れぞれ必要な材料・部品を選択し、組み 合わせて製作すること。 ソケットは、義足の懸垂、体重支持及び 運動性を確保すること。歩容に重要な影 響を及ぼすので、アライメントは特に精 密に決定すること。 アライメントカットリソング（軸位調整装 置）を用いて必ず試歩行を行うこと。 両側の歩調をそろえるため、股屈曲角制 限装置を取り付けること。	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

保持椅子、起立保持具、歩行器、頭部保持具、排便補助具、歩行補助つえ及び重度障害者用意
思伝達装置とし、次項から第五項までに定める基準以外の基準については、別表のとおりとす
る。ただし、障害の現症、生活環境等を特に考慮して市町村が費用を支給する補装具について
は、別表の規定にかかわらず、法第七十六条第三項の規定による身体障害者更生相談所その他
厚生労働省令で定める機関の意見に基づき当該市町村が定めるものとする。

2 前項ただし書の補装具は、同項前段に掲げる補装具の種目に該当し、かつ、別表の規定によ
らないものとする。

3 法第七十六条第二項の規定に基づき厚生労働大臣が定める補装具の購入又は修理に係る費用
の額の基準は、別表の規定による価格の百分の百四・八に相当する額とする。ただし、第一項
ただし書の補装具については、市町村が定める額とする。

4 次の各号に掲げる購入又は交換に係る費用の額の基準は、前項の規定にかかわらず、別表の
規定による価格の百分の百八に相当する額とする。

一 別表の 1 の (5) の眼鏡（遮光眼鏡及び弱視眼鏡を除く。）の購入

二 九（略）

十 別表の 2 の (5) の重度障害者用意思伝達装置の項中本体修理、固定台（アーム式又はテー
ブル置き式）交換、固定台（自立スタンド式）交換、入力装置固定具交換、呼び鈴交換、呼
び鈴分岐装置交換、接点式入力装置（スイッチ）交換、帯電式入力装置（スイッチ）交換、
筋電式入力装置（スイッチ）交換、光電式入力装置（スイッチ）交換、呼吸式（吸気式）入
力装置（スイッチ）交換、圧電素子式入力装置（スイッチ）交換、空気圧式入力装置（スイッ
チ）交換及び遠隔制御装置交換

5（略）

別表

1 購入基準

(1) 義肢一般構造義肢

名 称	型 式	使用材料・部品及び工作法	価 格	備 考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
股 義 足	(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	カナ デ イ ン 式			
(略)	(略)	アの基本工作法により、エ及びオよりそ れぞれ必要な材料・部品を選択し、組 み合わせて製作すること。 ソケットは、義足の懸垂、体重支持及 び運動性を確保すること。歩容に重要な 影響を及ぼすので、アライメントは特に 精密に決定すること。 アライメントカットリソング（軸位調整装 置）を用いて必ず試歩行を行うこと。 両側の歩調をそろえるため、股屈曲角 制限装置を取り付けること。	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)

ア 基本工作法

工 程	作 業 の 内 容
(略)	(略)
(略)	ストックネットの被覆、強化材の付加、 <u>P V A</u> バックの被覆、 <u>樹脂注型</u> 、取外し及びソケットトリミング
(略)	(略)
(略)	義手：継手等各部の組合せ及び結合並びにハーネスの取付け 義足： <u>アライメントカップリング</u> の取付け、ベンチアライメントの設定、各部の組合せ及び結合、懸垂装置の取付け並びに角度調整
(略)	(略)
(略)	義手：外形の研削、ストックネットの被覆及びラミネーション 義足： <u>アライメントカップリング</u> の取外し、外形の形成、内部余肉の除去、外装並びにソケットの適合及び機能の最終点検
(略)	(略)

イ (略)
ウ 基本価格

名 称	採型区分	型 式	価 格 円	備 考
(略)	(略)	(略)	<u>34,200</u> <u>34,200</u> <u>45,500</u>	肩甲胸郭間切断用は、 <u>13,700円</u> 増しとすること。

(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)

ア 基本工作法

工 程	作 業 の 内 容
(略)	(略)
(カ) ソケット製作	ストックネットの被覆、強化材の付加、 <u>P V A</u> スリーブの被覆、 <u>樹脂の注型</u> 、取外し及びソケットトリミング
(略)	(略)
(ク) 組立て	義手：継手等各部の組合せ及び結合並びにハーネスの取付け 義足： <u>カップリング</u> の取付け、ベンチアライメントの設定、各部の組合せ及び結合、懸垂装置の取付け並びに角度調整
(略)	(略)
(コ) 外装及び仕上げ	義手：外形の研削、ストックネットの被覆及びラミネーション 義足： <u>カップリング</u> の取外し、外形の形成、内部余肉の除去、外装並びにソケットの適合及び機能の最終点検
(略)	(略)

イ (略)
ウ 基本価格

名 称	採型区分	型 式	価 格 円	備 考
義 手 用	A－1	装 飾 用 作 業 用 能 動 式	<u>33,600</u> <u>33,600</u> <u>44,700</u>	肩甲胸郭間切断用は、 <u>13,300円</u> 増しとすること。

	(略)	(略)	<u>36,300</u> <u>36,300</u> <u>42,600</u>	吸着式は、 <u>26,300円</u> 増しとすること。
	(略)	(略)	<u>33,100</u> <u>33,100</u> <u>38,300</u>	吸着式は、 <u>26,300円</u> 増しとすること。
	(略)	(略)	<u>32,100</u> <u>32,100</u> <u>33,700</u>	顎上懸垂式は、 <u>13,100円</u> 増しとすること。 スプリットソケットは、 <u>19,700円</u> 増しとすること。
	(略)	(略)	<u>29,100</u> <u>29,100</u> <u>33,100</u>	
	(略)	(略)	<u>11,200</u> <u>11,200</u> <u>16,800</u>	
	(略)	(略)	<u>8,900</u> <u>13,000</u>	
(略)	(略)	(略) カナダ式	<u>104,200</u> <u>104,200</u>	片側骨盤切断用は、 <u>17,900円</u> 増しとすること。
	(略)	(略)	<u>68,200</u> <u>113,100</u> <u>156,700</u>	短断端切断用キップシャフトは、 <u>51,100円</u> 増しとすること。 坐骨収納型ソケットは、 <u>55,500円</u> 増しとすること。
	(略)	(略)	<u>66,500</u> <u>87,400</u> <u>131,000</u>	大腿支柱付きは、 <u>24,400円</u> 増しとすること。
	(略)	(略)	<u>54,200</u> <u>76,900</u> <u>92,200</u> <u>94,900</u>	大腿支柱付きは、 <u>24,400円</u> 増しとすること。
	(略)	(略)	<u>44,000</u> <u>66,300</u>	
	(略)		<u>23,100</u>	
	(略)		<u>17,700</u>	

	A－2	装飾用 作業用 能動式	<u>35,700</u> <u>35,700</u> <u>41,900</u>	吸着式は、 <u>25,900円</u> 増しとすること。
	A－3	装飾用 作業用 能動式	<u>32,600</u> <u>32,600</u> <u>37,700</u>	吸着式は、 <u>25,900円</u> 増しとすること。
	A－4	装飾用 作業用 能動式	<u>31,600</u> <u>31,600</u> <u>33,200</u>	顎上支持式は、 <u>12,900円</u> 増しとすること。 スプリット式は、 <u>19,400円</u> 増しとすること。
	A－5	装飾用 作業用 能動式	<u>28,600</u> <u>28,600</u> <u>32,600</u>	
	A－6	装飾用 作業用 能動式	<u>11,000</u> <u>11,000</u> <u>16,500</u>	
	A－7	装飾用 作業用	<u>8,750</u> <u>12,800</u>	
義足用	B－1	受皿式 カナディアン式	<u>86,600</u> <u>86,600</u>	片側骨盤切断用は、 <u>17,600円</u> 増しとすること。
	B－2	差込式 ライナー式 吸着式	<u>54,300</u> <u>98,300</u> <u>141,300</u>	短断端切断用キップシャフトは、 <u>50,000円</u> 増しとすること。 I R Cソケットは、 <u>54,500円</u> 増しとすること。
	B－3	差込式 ライナー式 吸着式	<u>52,600</u> <u>73,000</u> <u>116,000</u>	大腿支柱付きは、 <u>23,900円</u> 増しとすること。
	B－4	差込式 P T B式 P T S式 K B M式	<u>40,600</u> <u>63,000</u> <u>78,100</u> <u>80,700</u>	大腿支柱付きは、 <u>23,900円</u> 増しとすること。
	B－5	差込式 有窓式	<u>43,300</u> <u>65,300</u>	
	B－6		<u>22,700</u>	
	B－7		<u>17,400</u>	

注)

- 1 顆上懸垂式は、ミュンスター式及びノースウェスタン式とすること。
- 2 ソフトインサートのシリコーン又は、完成用部品のライナーを使用して仮合わせ専用のチェックソケットを用いる場合に限り、45,400円加算できること。
- 3 坐骨収納型ソケットを除く吸着式、顆上懸垂式、スプリットソケットのチェックソケットの材料に透明プラスチックを使用した場合は、8,150円加算できること。その他については、製作工程にチェックソケットを用いた場合であって、透明プラスチックを材料とした場合に限り、同様に加算できること。なお、上記2との併用加算はできないこと。

エ 製作要素価格

(ア) ソケット

名 称	採型区分	使 用 材 料	価 格 円	備 考
(略)	(略)	(略)	<u>11,000</u>	
			<u>9,000</u>	
			<u>20,200</u>	
			<u>5,150</u>	
	(略)	(略)	<u>9,750</u>	
			<u>11,800</u>	
			<u>13,900</u>	
			<u>6,650</u>	
	(略)	(略)	<u>9,750</u>	
			<u>12,800</u>	
			<u>13,900</u>	
			<u>4,750</u>	
	(略)	(略)	<u>8,550</u>	
			<u>11,700</u>	
			<u>13,600</u>	
			<u>4,700</u>	
	(略)	(略)	<u>10,300</u>	
			<u>8,850</u>	
			<u>12,900</u>	
			<u>6,700</u>	

注)

- 1 顆上支持式は、ミュンスタータイプ及びノースウェスタンタイプとすること。
- 2 ソフトインサートのシリコーン又は、完成用部品のライナーを使用して仮合わせ専用のチェックソケットを用いる場合に限り、44,500円加算できること。
- 3 I R Cソケットを除く吸着式、顆上支持式、スプリット式のチェックソケットの材料に透明プラスチックを使用した場合は、7,800円加算できること。その他については、製作工程にチェックソケットを用いた場合であって、透明プラスチックを材料とした場合に限り、同様に加算できること。なお、上記2との併用加算はできないこと。

エ 製作要素価格

(ア) ソケット

名 称	採型区分	使 用 材 料	価 格 円	備 考
義 手 用	A－1	アルミニウム、 セルロイド 皮 革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>10,800</u>	
			<u>8,850</u>	
			<u>19,900</u>	
			<u>5,050</u>	
	A－2	アルミニウム、 セルロイド 皮 革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>9,600</u>	
			<u>11,600</u>	
			<u>13,600</u>	
			<u>6,550</u>	
	A－3	アルミニウム、 セルロイド 皮 革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>9,600</u>	
			<u>12,600</u>	
			<u>13,600</u>	
			<u>4,700</u>	
	A－4	アルミニウム、 セルロイド 皮 革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>8,450</u>	
			<u>11,500</u>	
			<u>13,300</u>	
			<u>4,600</u>	
	A－5	アルミニウム、 セルロイド 皮 革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>10,100</u>	
			<u>8,750</u>	
			<u>12,700</u>	
			<u>6,600</u>	

		(略)	(略)	<u>8,350</u> <u>8,600</u> <u>10,500</u> <u>6,500</u>					
		(略)	(略)	<u>3,900</u> <u>3,950</u> <u>3,350</u>					
	(略)	(略)	(略)	<u>21,800</u> <u>36,300</u> <u>15,000</u>					
	(略)	(略)	(略)	<u>49,500</u> <u>14,500</u> <u>19,200</u> <u>28,000</u> <u>16,600</u>	エアクッションソケットは、 15,500円増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>17,700円</u> 増しとすること。				
	(略)	(略)	(略)	<u>14,800</u> <u>24,700</u> <u>41,400</u> <u>19,000</u>	エアクッションソケットは、 15,500円増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>17,400円</u> 増しとすること。				
	(略)	(略)	(略)	<u>11,600</u> <u>17,300</u> <u>25,200</u> <u>13,200</u>	エアクッションソケットは、 <u>14,100円</u> 増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>6,850円</u> 増しとすること。				
	(略)	(略)	(略)	<u>12,100</u> <u>17,600</u> <u>23,900</u> <u>10,300</u>	エアクッションソケットは、 13,000円増しとすること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>9,600円</u> 増しとすること。				
		A－6	セルロイド 皮 革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>8,250</u> <u>8,450</u> <u>10,300</u> <u>6,400</u>					
		A－7	皮 革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>3,800</u> <u>3,850</u> <u>3,300</u>					
義 足 用	B－1	アルミニウム、 セルロイド 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>21,400</u> <u>35,300</u> <u>14,800</u>						
	B－2	木 製 アルミニウム、 セルロイド 皮 革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>48,200</u> <u>14,200</u> <u>18,800</u> <u>27,300</u> <u>16,100</u>	エアクッションソケットは、 15,100円増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>16,900円</u> 増しとすること。					
	B－3	アルミニウム、 セルロイド 皮 革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>14,500</u> <u>24,200</u> <u>40,500</u> <u>18,400</u>	エアクッションソケットは、 15,100円増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>16,600円</u> 増しとすること。					
	B－4	アルミニウム、 セルロイド 皮 革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>11,400</u> <u>17,000</u> <u>24,700</u> <u>12,900</u>	エアクッションソケットは、 <u>13,800円</u> 増しとすること。 二重式ソケットは、内ソケットの使用材料の価格を加算することができること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>6,550円</u> 増しとすること。					
	B－5	アルミニウム、 セルロイド 皮 革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>11,900</u> <u>17,300</u> <u>23,500</u> <u>10,200</u>	エアクッションソケットは、 12,700円増しとすること。 主たる積層材にカーボンストッキネットを用い樹脂注型を行う場合は、 <u>9,150円</u> 増しとすること。					

	(略)	(略)	<u>11,900</u> <u>10,300</u> <u>22,100</u> <u>10,150</u>	エアクッションソケットは、 <u>12,200円</u> 増しとすること。 主たる積層材にカーボンストッキ ネットを用い樹脂注型を行う場合 は、 <u>5,850円</u> 増しとすること。
	(略)	(略)	<u>9,000</u> <u>20,000</u> <u>9,700</u>	

(イ) ソフトインサート

名 称	採型区分	使用材料	価 格 円	備 考
(略)	(略)	(略)	<u>4,500</u> <u>4,500</u> <u>7,650</u>	
	(略)	(略)	<u>3,950</u> <u>4,400</u> <u>7,350</u>	
	(略)	(略)	<u>3,950</u> <u>4,400</u> <u>7,350</u>	
	(略)	(略)	<u>3,800</u> <u>4,350</u> <u>7,100</u>	
	(略)	(略)	<u>3,800</u> <u>4,350</u> <u>7,100</u>	
(略)	(略)	(略)	<u>6,750</u> <u>5,050</u> <u>10,100</u>	

	B－6	セ ル ロ イ ド 皮 革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>11,700</u> <u>10,100</u> <u>21,700</u> <u>10,000</u>	エアクッションソケットは、 <u>11,900円</u> 増しとすること。 主たる積層材にカーボンストッキ ネットを用い樹脂注型を行う場合 は、 <u>5,600円</u> 増しとすること。
	B－7	皮 革 熱硬化性樹脂 熱可塑性樹脂	<u>8,850</u> <u>19,700</u> <u>9,550</u>	

(イ) ソフトインサート

名 称	採型区分	使用材料	価 格 円	備 考
義 手 用	A－1	皮 革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡 樹脂	<u>4,400</u> <u>4,450</u> <u>7,500</u>	
	A－2	皮 革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡 樹脂	<u>3,850</u> <u>4,300</u> <u>7,200</u>	
	A－3	皮 革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡 樹脂	<u>3,850</u> <u>4,300</u> <u>7,200</u>	
	A－4	皮 革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡 樹脂	<u>3,750</u> <u>4,300</u> <u>6,950</u>	
	A－5	皮 革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡 樹脂	<u>3,750</u> <u>4,300</u> <u>6,950</u>	
義 足 用	B－1	皮 革 軟性発泡樹脂 皮革・軟性発泡 樹脂	<u>6,550</u> <u>4,950</u> <u>9,850</u>	

	(略)	(略)	<u>5,150</u> <u>4,650</u> <u>6,600</u> <u>9,250</u> <u>42,200</u>	
	(略)	(略)	<u>5,800</u> <u>4,800</u> <u>9,200</u> <u>10,250</u> <u>45,500</u>	
	(略)	(略)	<u>4,200</u> <u>4,450</u> <u>6,800</u> <u>7,900</u> <u>36,300</u>	
	(略)	(略)	<u>4,500</u> <u>7,300</u> <u>7,800</u>	
	(略)	(略)	<u>2,850</u> <u>3,250</u> <u>5,700</u>	
	(略)	(略)	<u>2,200</u> <u>2,550</u> <u>4,450</u>	
注) 1・2 (略)				

(ウ) 支持部

名 称	型 式	部 位	使用材料	価 格 円	備 考
(略)	(略)	(略)		<u>8,450</u>	
		(略)	(略)	<u>7,600</u>	
				<u>23,600</u>	

B－2	皮 革 軟 性 発 泡 樹 脂 皮革・軟性発泡 樹脂 皮革・フェルト シ リ コ ー ン	<u>5,000</u> <u>4,600</u> <u>6,500</u> <u>9,050</u> <u>41,100</u>	
B－3	皮 革 軟 性 発 泡 樹 脂 皮革・軟性発泡 樹脂 皮革・フェルト シ リ コ ー ン	<u>5,650</u> <u>4,750</u> <u>9,000</u> <u>9,950</u> <u>44,200</u>	
B－4	皮 革 軟 性 発 泡 樹 脂 皮革・軟性発泡 樹脂 皮革・フェルト シ リ コ ー ン	<u>4,100</u> <u>4,400</u> <u>6,700</u> <u>7,750</u> <u>35,300</u>	
B－5	皮 革 軟 性 発 泡 樹 脂 皮革・軟性発泡 樹脂	<u>4,400</u> <u>7,100</u> <u>7,650</u>	
B－6	皮 革 軟 性 発 泡 樹 脂 皮革・軟性発泡 樹脂	<u>2,800</u> <u>3,150</u> <u>5,600</u>	
B－7	皮 革 軟 性 発 泡 樹 脂 皮革・軟性発泡 樹脂	<u>2,150</u> <u>2,500</u> <u>4,300</u>	
注) 1・2 (略)			

(ウ) 支持部

名 称	型 式	部 位	使用材料	価 格 円	備 考
義 手 用	装飾用 能動式	肩 部		<u>8,350</u>	
		上腕部	アルミニウム、セ ルロイド 熱 硬 化 性 樹 脂	<u>7,450</u>	
				<u>23,200</u>	

		(略)	(略)	<u>9,650</u>	
				<u>19,400</u>	
	(略)	(略)		<u>7,600</u>	(略)
		(略)		<u>9,650</u>	(略)
(略)	(略)	(略)		<u>10,400</u>	
		(略)	(略)	<u>30,900</u> <u>31,100</u> <u>32,300</u>	
		(略)	(略)	<u>26,900</u> <u>28,100</u> <u>31,700</u>	
		(略)	(略)	<u>14,400</u>	
	(略)	(略)		<u>59,200</u>	(略)
		(略)		<u>28,100</u>	(略)
注)					
1・2 (略)					
3 肩義手で、ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は上腕部との接続のために修正を行う場合は、 <u>9,000円</u> 増しとすること。					
4 股義足で、ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は股継手の土台を積層するために大幅な修正を行う場合は、 <u>10,500円</u> 増しとすること。					
5 (略)					
(エ) 義手用ハーネス及び義足懸垂用部品					
区分	名 称	使 用 部 品	価 格 円	備 考	
(略)	(略)	胸郭バンド式肩ハーネス一 式	<u>21,300</u>		
		肩たすき一式	<u>10,700</u>		
	(略)	胸郭バンド式上腕ハーネス 一式	<u>21,100</u>		
		肩たすき一式	<u>10,700</u>		
		8字ハーネス一式	<u>9,750</u>		

		前腕部	アルミニウム、セル ロイド 熱硬化性樹脂	<u>9,500</u> <u>19,100</u>	
	作業用	上腕部		<u>7,450</u>	(略)
		前腕部		<u>9,500</u>	(略)
義足用	常 用	股 部		<u>10,200</u>	
		大腿部	木 製 アルミニウム、セル ロイド 熱硬化性樹脂	<u>30,300</u> <u>30,600</u> <u>31,700</u>	
		下腿部	木 製 アルミニウム、セル ロイド 熱硬化性樹脂	<u>26,500</u> <u>27,700</u> <u>31,200</u>	
		足 部	軟性発泡樹脂	<u>14,200</u>	
	作業用	大腿部		<u>58,300</u>	(略)
		下腿部		<u>27,700</u>	(略)
注)					
1・2 (略)					
3 肩義手で、ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は上腕部との接続のために修正を行う場合は、 <u>8,800円</u> 増しとすること。					
4 股義足で、ソケットに続く部分の形状を健側のように整えるため又は股継手の土台を積層するために大幅な修正を行う場合は、 <u>10,300円</u> 増しとすること。					
5 (略)					
(エ) 義手用ハーネス及び義足懸垂用部品					
区分	名 称	使 用 部 品	価 格 円	備 考	
義手用ハーネス	肩 義 手 用	胸郭用ベルトハーネス一式	<u>20,900</u>		
		肩たすき一式	<u>10,500</u>		
	上腕義手用	胸郭用ベルトハーネス一式	<u>20,700</u>		
		肩たすき一式 8字ハーネス一式	<u>10,500</u> <u>9,550</u>		

	(略)	胸郭バンド式前腕ハーネス一式 8字ハーネス一式 9字ハーネス一式 たわみ式肘継手（一組） 前方支持バンド 上腕カフ（三頭筋パッド）	<u>18,000</u> <u>7,850</u> <u>5,050</u> <u>2,450</u> <u>2,450</u> <u>5,100</u>	
(略)	(略)	(略)	<u>15,200</u>	
	(略)	(略)	<u>7,400</u>	
		肩吊り帯	<u>6,400</u>	
		(略)	<u>8,750</u>	
		(略)	<u>1,650</u>	
		(略)	<u>2,150</u>	(略)
	(略)	(略) (略) (略) P T B カフベルト一式	<u>8,750</u> <u>2,300</u> <u>11,600</u> <u>8,750</u>	
注 1～4 (略) 5 下腿義足常用軽便式の懸垂用膝カフは、 <u>P T B カフベルト</u> に準ずること。				

(オ) 外装

名 称	外装部位	使用材料等	価 格 円	備 考
(略)	(略)	(略)	<u>5,600</u>	
			<u>15,200</u>	
			<u>2,000</u>	
	(略)	(略)	<u>5,700</u>	
			<u>14,800</u>	
			<u>1,750</u>	
	(略)	(略)	<u>5,600</u>	
			<u>11,600</u>	
			<u>1,850</u>	
(略)	(略)	(略)	<u>10,350</u>	
			<u>16,900</u>	
			<u>3,300</u>	

	前腕義手用	<u>胸郭用ベルトハーネス一式</u>	<u>17,700</u>	
		8字ハーネス一式	<u>7,700</u>	
		9字ハーネス一式	<u>4,950</u>	
		<u>たわみ継手（一組）</u>	<u>2,400</u>	
		前方支持バンド	<u>2,400</u>	
		上腕カフ（三頭筋パッド）	<u>5,000</u>	
義足懸垂用部品	股義足用	懸垂帯一式	<u>14,900</u>	
	大腿義足用	シレジアバンド一式	<u>7,250</u>	(略)
		肩吊帯	<u>6,300</u>	
		腰バンド	<u>8,600</u>	
		横吊帯	<u>1,600</u>	
		義足用股吊帯	<u>2,100</u>	
	下腿義足用	腰バンド	<u>8,600</u>	
		横吊帯	<u>2,250</u>	
		大腿もも締め一式	<u>11,300</u>	
		<u>P T B 膝カフ一式</u>	<u>8,600</u>	

(注)

1 ～ 4 (略)

5 下腿義足常用軽便式の懸垂用膝カフは、 P T B 膝カフ に準ずること。

(オ) 外装

名 称	外装部位	使用材料等	価 格 円	備 考
義 手 用	肩 部	皮 革	<u>5,500</u>	
		プラスチック	<u>15,000</u>	
		塗 装	<u>1,950</u>	
	上 腕 部	皮 革	<u>5,600</u>	
		プラスチック	<u>14,500</u>	
		塗 装	<u>1,700</u>	
	前 腕 部	皮 革	<u>5,500</u>	
		プラスチック	<u>11,400</u>	
		塗 装	<u>1,850</u>	
義 足 用	股 部	皮 革	<u>10,100</u>	
		プラスチック	<u>16,600</u>	
		塗 装	<u>3,250</u>	